

# 電子版センターだより



Gunma Prefectural Education Center  
群馬県総合教育センター - No.33 -

令和5年2月28日(火)配信

## <掲載内容>

頁

- |   |  |    |
|---|--|----|
| 1 | 令和5年度教職員研修の改善及び新たな研修制度への対応<br>令和4年度教育研修員研修研究成果について | 1  |
| 2 | 令和4年度 ぐんま教育フェスタの紹介                                 | 3  |
| 3 | 第20回ぐんま教育賞 入賞者紹介                                   | 5  |
| 4 | 教育の情報化の推進に向けて                                      | 7  |
| 5 | 特別支援教育の研修に係る Web ページの更新                            | 8  |
| 6 | 「保育アドバイザー派遣」について                                   | 9  |
| 7 | 自立支援アドバイザーの取組                                      | 10 |
| 8 | ハートフルスクールサポートステーションの紹介                             | 11 |

\* 編集後記 \*



# 令和5年度教職員研修の改善及び新たな研修制度への対応 令和4年度教育研修員研修研究成果について



群馬県教員育成指標を踏まえ、研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」に基づき様々な研修を実施し、「令和の日本型学校教育」を担う教職員の資質・能力の向上を図ります。また、教員免許更新制の発展的解消に伴う新しい研修制度に対応します。

## I 研修の改善方針（重点項目）

### 1 組織的・協働的な取組を推進する研修の充実

- (1) 管理職における「アセスメント能力」や「ファシリテーション能力」の向上
- (2) 校内研修や授業研究のもち方の工夫
- (3) 学校組織としての持続可能な開発のための教育(ESD)の推進
- (4) 成年年齢引き下げに伴う各学校段階に応じた指導の工夫
- (5) 小中高の系統的なプログラミング教育の充実（7ページ参照）

研修主任研修講座  
SDGsの実現を目指した人材育成セミナー  
高校主権者教育実践研修  
小学校プログラミング教育研修講座 等



### 2 多様化する子供たちへの対応に資する研修の充実

- (1) 児童生徒に寄り添い、支えていく視点を大切にした生徒指導・教育相談等の推進
- (2) 日本語指導が必要な児童生徒等への組織的かつ体系的な指導の推進

いじめ・不登校等問題対策研修講座  
ゲートキーパー養成研修講座 等

### 3 ICTを効果的に活用した授業改善の推進

- 教員のICT活用指導力の向上（7ページ参照）

ICT活用指導力向上研修講座 等

### 4 リーガルマインドを尊重した教育公務員の育成

- 法的根拠に基づく教育活動の実践

### 5 組織的・協働的な取組を推進する研修の充実

- (1) 教育現場での不安や困り感の解消、ICT活用など新たな教育施策への支援等
- (2) 学習指導や児童生徒理解に関する実践的指導力の向上を目指した研修の充実
- (3) 研修講座の中で受講者の実態を把握し、現場での不安や困り感が解消できるよう支援



### 6 教職員の新しい学び方の実現を目指した研修体制の整備

- (1) 教職員が参加しやすい受講形態の工夫
- (2) 体系的・計画的な学びへの支援



## 令和5年度より新設・統合する研修講座

### 【新設】

- ◎ 希望研修 「教育相談実践充実フォローアップ研修講座」 【対象：教職員】  
生徒指導・教育相談の基礎的な理論・技術の理解、実践的指導力の向上
- ◎ 公開講座 「教師力養成研修講座」 【対象：教職を目指す学生、教員免許をお持ちの方】  
教職を志す学生や免許保有者への必要な資質・能力の育成
- ◎ 公開講座 「教員ReStart支援講座」 【対象：臨時的任用者、教職経験者や教職に興味がある方】  
教育現場での不安や困り感の解消、教職として活躍するための気持ちの醸成



### 【統合】

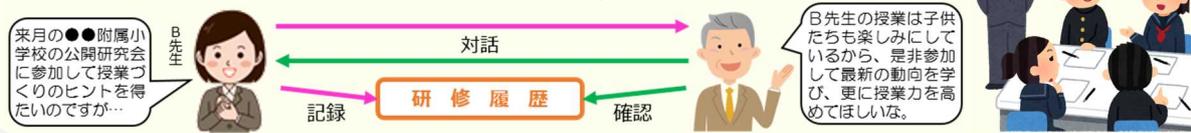
- ◎ 「道徳科授業づくり研修講座」 + 「道徳教育推進教師（道徳主任）研修講座」  
→ 希望研修 「道徳科研修講座」
- ◎ 「外国人児童生徒等の担任等研修講座」 + 「外国人児童生徒等に対する教科指導研修講座」  
→ 希望研修 「多文化共生教育研修講座」



## Ⅱ 新たな研修制度（教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部改正）への対応

### ○ 研修等に関する記録の作成及び資質の向上に関する指導助言等の実施

- 令和4年5月に教育公務員特例法及び教育職員免許法が改正され、教員免許更新制は、令和4年7月1日から発展的に解消されました。
- このことに伴い、「研修履歴の記録の作成」及び「教師の資質向上に関する指導助言等」に関する規定が新たに整備され、令和5年4月1日に施行されます。
- そこで、4月からスタートする、この新たな研修制度の充実を図り、「学び続けるぐんまの教員サポートマニュアル」を作成しました。
- 特に、研修履歴については県内で統一したいと考え、研修履歴の記録の様式や目的、記録の方法や内容等について示しました。
- あわせて、研修履歴の記録を活用した資質の向上に関する指導助言について、学校管理職と教員の対話の方法・時期等の場面例などを記載しましたので、参考にしてください。
- 本サポートマニュアルを活用して、教員の「主体的な学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」が実現され、研修の成果を子供たちに還元していただきたいと思います。



## Ⅲ 令和4年度教育研修員研修研究成果について

令和4年度教育研修員研修（長期研修・長期社会体験研修・特別研修）の研究成果を、当センターのWebサイトに掲載します（3月下旬予定）。

研修員が今日的な教育課題の解決に向けて努力してきた1年間の成果が詰まった報告書や、日頃の授業や学級経営に生かせる資料等を掲載します。是非御覧ください。



群馬県総合教育センターWebサイト  
教育研修員研修のページ



令和5年度の教職員研修に関する事務連絡（研修講座一覧、研修講座実施要項、研修履歴、法定研修等の手引及び各種様式、受講手続、初任研・新採研及び教育研修員研修の初日等）については、関係機関に情報を提供するとともに、当センターWebサイト (<https://center.gsn.ed.jp/>) に掲載しますので御確認ください。【お問合せ先】総合教育センター研究企画係 0270-26-9212 [kikaku@edu-g.gsn.ed.jp](mailto:kikaku@edu-g.gsn.ed.jp)

## 令和4年度 ぐんま教育フェスタの紹介

令和5年2月4日（土）、学校関係者を対象に「ぐんま教育フェスタ」をオンラインで開催しました。今年度から長期研修員の発表動画を1年間オンデマンド配信として当センターWebページから視聴できるようにしました。<https://center.gsn.ed.jp/festa/r04festa>



その他にも長期社会体験研修員・特別研修員の発表や先進プログラミング教育、ぐんま宇宙教育パッケージの紹介などを行っています。明日の授業のヒントがあるかもしれません。是非御覧ください。当日の様子を紹介いたします。

### 1 特別講演 演題：「教育に科学的根拠を」 講師：中室 牧子 氏



#### 講師紹介

慶應義塾大学総合政策学部 教授  
デジタル庁 デジタルエデュケーション統括公益財団法人東京財団政策研究所 研究主幹

慶應義塾大学環境情報学部卒業後、日本銀行、世界銀行等を経て、コロンビア大学にてMPA、Ph.D.取得後現職。専門は教育経済学。

規制改革推進会議、産業構造審議会等で有識者委員を務める。著書はビジネス書大賞2016準大賞を受賞した「『学力』の経済学」（ディスカヴァー・トゥエンティワン）、週刊ダイヤモンド2017年ベスト経済学書第1位の「『原因と結果』の経済学」（共著、ダイヤモンド社）など。

#### 講演内容

- ・経済におけるビッグデータは数多く存在するが、教育におけるビッグデータはほとんどないのが現状である。
- ・海外では比較調査を行い何十年も追跡調査した結果を根拠として、幼少期のときから教育にお金を掛けると費用対効果が高いことが分かっている。
- ・認知能力を伸ばすことが得意な先生がいれば、非認知能力を伸ばすことが得意な先生もいる。
- ・子供のいろいろな力を伸ばすためにも、異なる力をもった先生の力が必要であり、教員の質を高めていくことが重要である。

#### 参加者の声（一部抜粋）

- ・「教育の収益率」「教育への公共費用の投入に対する費用対効果」といった、経済的な視点からのお話はとても興味深かったです。「教育の効果はすぐに表れるものではない」ということから、数値として見やすい「学力」ばかりが目立っていますが、今回の講演を聴いて「非認知能力」へ目を向けることの大切さが分かりました。
- ・中室先生のように校内研修について科学的に検証し、それに効果があったのかどうか判断し、学校課題を解決するための研修の進め方が理にかなうよう、そしてきちんと効果が測れるようアドバイスをくださるシステムがあると有り難いと思います。ICTの活用によって現場での実践的な視点と科学的な根拠に基づく研修を可能にするのではと思いました。



## 2 長期研修員の研究発表（ライブ配信＋オンデマンド配信）

6 成果・課題・提言

**提言**

○主体的に学習に取り組む態度を養い、その評価を適切に行っていくために、各教科等においてより効果的な1人1台端末の活用を考えていきましょう。



片峰研修員は、「1人1台端末を活用し、自らの学びを振り返りながら主体的に学習に取り組む生徒の育成」をテーマに研究を行いました。主体的に学習に取り組む態度を養うために、1人1台端末を活用したルーブリックによる自己評価の蓄積などの指導方法と、評価への生かし方を提案しています。




大澤研修員は「自己有用感を高める支援の工夫」をテーマに研究を行いました。

教師と児童、児童と児童がよりよく関わるために「自己有用感グロウアップナビ」を活用しました。認め合い活動と児童同士の相互評価を積み重ねることで、学級力を向上させ、自己有用感の高め方を提案しています。



## 3 長期社会体験研修員の研究発表（オンデマンド配信）

**授業の流れ**

- 導入**
  - ・研修先企業と研修内容の紹介
  - ・社会人に必要なこと
- 展開①**
  - ・各職種に必要な資質・能力
  - ・先生方を職種へ当てはめる
- 展開②**
  - ・自己評価と他者評価
  - ・行動目標の宣言
- まとめ**
  - ・社員からのメッセージ
  - ・本時のまとめ



石川研修員は企業研修において、各部署での研修内容や研究協力校で行った、キャリア教育の実践例などを紹介しています。授業実践では、「社会人として求められる人物像と現在の自分とのギャップを知り、進路実現するための主体的な活動や行動目標を考える」ことをねらいとした授業を提案しています。学校の授業で活用できる「キャリア教育リーフレット」も併せて紹介しています。是非御活用ください。

## 4 先進プログラミング、ぐんま宇宙教育パッケージ（オンデマンド配信）

「先進プログラミング」

↓

テキストプログラミングを使用したプログラミング教育

5年



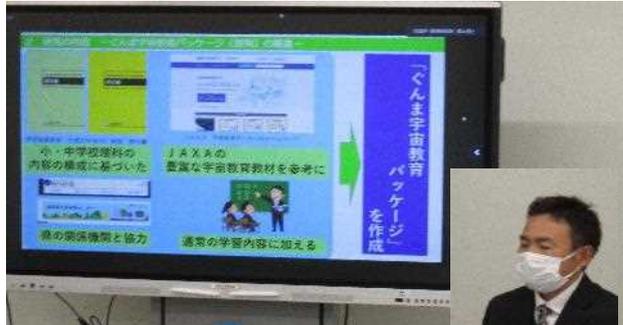
```

10 LOCATE 16,11:PRINT"@
20 WAIT60
30 LOCATE 16,11:PRINT" "
40 WAIT60
50 GOT010
                    
```

6年



先進プログラミング教育実践モデル校4校では、テキストプログラミングを取り入れた実践（ロボットの操作やアニメーションの作成など）に3年間取り組みました。児童が試行錯誤を繰り返しながら、課題を解決しようとする様子を紹介しています。



橋本研修員は「群馬ならではの宇宙教育」を進めるために、宇宙を素材とした教材集「ぐんま宇宙教育パッケージ（理科）」を作成し、児童生徒の科学への興味・関心を高めようとしています。3月末には当センターWebページにリンクが貼られる予定です。多くの先生方に活用してほしいと思います。

## 第20回ぐんま教育賞 入賞者紹介

本年度は「杉の子賞」30編の応募の中から、最優秀賞1編及び優秀賞3編を決定しました。最優秀作品及び優秀作品3編についての概要と表彰式の様子を紹介します。

### 最優秀賞



◇高校理科における、授業ポータルサイトを用いて主体的な学習を促す授業実践  
－「指導と評価の一体化」「個別最適な学びと協働的な学び」を通して－

伏島 悠平（群馬県立太田高等学校）

#### 【概要】

本研究は、以下の三つの手立てを通して、教員の働き方改革と授業進度の維持を重視しながら、学習用端末を効果的に利用して「指導と評価の一体化」「個別最適な学びと協働的な学び」「知的好奇心、探究心の刺激」を継続的に行い、生徒の主体的な学習を目指す。

- 1 生徒がいつでもアクセスできる授業ポータルサイトの作成
- 2 授業ポータルサイトに組み込んだ振り返りアンケートの活用
- 3 主体的に学習に取り組む態度を検証するパフォーマンステスト

#### 【受賞者の言葉】

名誉ある賞を頂き誠に光栄です。実践が軌道に乗るまでは大変でしたが、今では生徒の振り返りアンケートの記述が励みになり、Q&Aや問題解説PDFを作成することが楽しくなっています。これからも、生徒がわくわくする「指導と評価」を繰り返し、生徒と共に「互いに授業や学習状況を改善して、よりよい授業を作っていこう」という思いをもち続け、授業の進化を止めずに続けていきたいと思っています。



## 優秀賞



◇見通しをもって学習に取り組み、自信をもって自分の考えを表現できる生徒の育成

－振り返りシートと端末の効果的な活用を通して－

金澤 英明（太田市立太田中学校）

桐生 篤（太田市立休泊中学校）

渡邊 正樹（太田市立尾島中学校）

佐橋 綾香（太田市立木崎中学校）

木下 涼馬（太田市立生品中学校）

中島 優太（太田市立綿打中学校）



### 【概要】

本研究の実践として、生徒自らが見通しをもって学習に取り組めるように、単元を見通すことのできる振り返りシートの作成と活用、また自信をもって自分の考えを表現できるようになるために端末のアンケート機能や動画の録画を活用した授業づくりを進めた。その他にもGoogle JamboardやGoogle スライドを利用した協働学習や分散登校中のGoogle Meetを活用したオンライン学習など、端末の様々な機能を授業の中に取り入れ、生徒が学習に見通しをもち、自分の考えに自信をもって表現できるようになった。

◇図画工作科において表したいことを主体的に追求する児童の育成

－「かんじる・ためす・つくりだす」の活動を繰り返し取り入れた絵の指導の工夫－

菅原 千夏（富岡市立高瀬小学校）



### 【概要】

本研究は、小学校第2学年の児童を対象に、図画工作科の絵に表す活動において、表したいことを主体的に追求する児童の育成を目指したものである。題材の各過程において、「かんじる・ためす・つくりだす」活動を繰り返し取り入れて、絵の指導を行った。その結果、児童が感性や想像力を働かせて思考・判断する中で、よりよいものをつくりだそうとする姿が生まれ、主体的に追求しながら絵に表すことができるようになった。

◇探究心を大切にして、主体的に課題を解決しようとする児童・生徒の育成

－児童・生徒の「なぜ」「どうして」を生かした効果的な導入の工夫を通して－

森崎 靖子（桐生市立広沢小学校）

永井 彩加（桐生市立神明小学校）

山本 幸司（桐生市立中央中学校）

永田 将也（桐生市立新里中学校）



### 【概要】

導入（つかむ）場面で児童・生徒の「なぜだろう」という気付きや疑問を引き出すことが、主体的に課題に取り組む態度の涵養に何よりも大切である。これはどの教科にも横断的に言えることであり、そのためには教師・生徒・教材との対話を通して毎時間のめあてが形作られていくことが必要不可欠である。また、見通しをもって学習に取り組める単元構想を練り、毎時間の振り返りを徹底することで、新たな課題を見付け、次時の学習へとつなげることができる。

※入賞作品は、当センターWeb ページにて主題及び作品全文を公開しています。是非御覧ください。

【 ぐんま教育賞 Web ページ <https://center.gsn.ed.jp/kyoikusho> 】

# 教育の情報化の推進に向けて

G I G Aスクール構想の推進により、I C Tを活用する環境が整ってきています。これからは児童生徒の情報活用能力の育成のために、教員のI C T活用指導力の向上が求められます。当センターでは、先生方のI C T活用指導力向上に向け、次のとおり令和5年度の研修講座を企画しています。

## I C T活用指導力の向上に向けて



<ICT活用指導力研修講座> 対象：小・中・義務・高・中等・特

講義名	内容
【講義】情報モラル：小学校における情報モラル ※オンライン	各校種に生じる事例（小：ゲーム依存症やネット被害等、中・高：SNS上のトラブルの事例等）や著作権侵害、個人情報の保護等について学びます。
【講義】情報モラル：中学校・高校における情報モラル ※オンライン	
【講義】情報モラル：著作権に係る情報モラル ※オンライン	
【講義・実習】Googleアプリ：初級編 ※集合	初級編はGoogleのアプリをほとんど使ったことがない教員を対象に基本的な使い方を学びます。
【講義・実習】Googleアプリ：Google クラスルーム・フォーム 実践活用編 ※集合	
【講義・実習】Googleアプリ：Google スプレッドシート 実践活用編 ※集合	実践活用編ではGoogleのアプリの実践的な活用方法を学びます。
【講義・実習】Googleアプリ：Google スライド、Google ドキュメント 実践活用編 ※集合	初級編は、ExcelやWordの基礎的な機能や操作、応用編では応用的な機能や操作を学びます。
【講義・実習】Excel・Word講座初級編①② ※集合	
【講義・実習】Excel・Word講座応用編①② ※集合	
【講義・実習】ネットワークの基本的な知識とネットワークトラブルの対応①② ※集合	無線LANの構築やネットワークトラブルの対応を学びます。

情報活用能力の一つである児童生徒のプログラミング的思考を育成するために、プログラミングに関する小・中・高の連携を意識して研修講座を企画しています。

## プログラミング教育の充実に向けて



<小学校プログラミング教育研修講座> 対象：小・義務・特（小学部）

講義名	内容
【講義・協議】小学校プログラミング教育の展望と先進事例 ※オンライン	小学校プログラミング教育の目的や背景、授業づくり等具体的な指導法を学びます。
【講義・協議】小学校プログラミング教育における授業づくり（基礎編） ※オンライン	
【講義・協議】小学校プログラミング教育の取組（算数科） ※オンライン	プログラミング的思考を育むための具体的な指導方法を学びます。
【講義・協議】小学校プログラミング教育の取組（理科） ※オンライン	
【講義・協議】小学校プログラミング教育の取組（総合的な学習の時間） ※集合	
【講義・演習】小学校プログラミング教育におけるプログラミング体験 ※集合	様々なプログラミング体験を通して、授業づくりを学びます。

<技術科研修講座> 対象：中・義務・中等（前期）・特

【講義・実習】情報の技術（計測・制御のプログラミング）の授業づくり ※集合	D情報の技術、計測・制御のプログラミングの授業づくりについて学びます。
---------------------------------------	-------------------------------------

<共通教科情報研修講座> 対象：高・中等（後期）

【講義・演習】プログラミングの基礎（JavaScript編） ※オンライン	プログラミングの基礎について学び、効果的な指導の在り方について学びます。
【講義・演習】プログラミングの基礎（Python編） ※オンライン	

I C T活用指導力の向上については、初心者向けの基本的な内容から応用的な内容まで、プログラミング教育については、校種別（小・中・高）に講座を実施します。奮って御参加ください。

# 特別支援教育の研修に係る Web ページの更新

近年、特別支援教育に関する研修へのニーズがますます高まっています。特別支援教育センターでは、このニーズに応えるべく、特別支援教育の研修に係る Web ページの更新を進めています。令和5年度は初めて特別支援学級の担任になった先生方の役に立つ内容を掲載していきます。

## ◎特別支援教育の研修に係る Web ページのイメージ

<受講者の声から>

担任になってすぐに必要な情報を知りたい

文字資料もよいけど、動画で説明してほしい

「特別の教育課程」の根拠って、どうなっているの？

業務のすき間時間でも学べる資料がほしい

「自立活動」って何？  
「個別の指導計画」って何？

知っておくべき情報のリンク先を知りたい



知りたい！学びたい！に応えます

<Webページ>

※令和5年度アップ予定。準備が整い次第、トップページでお知らせします。

## 新任の特別支援学級の先生方へ

教育課程

- ・法令及び学習指導要領等での位置付け（約10分）
- ・自立活動の位置付け（約5分）
- ・教科等を合わせた指導の位置付け（約5分）

関連する資料

- ・特総研
- ・県特別支援教育課
- ・センター資料
- ・長門特研

### 講義動画へリンク

#### 特別支援学級「特別の教育課程」

基本

①当該学年の各教科、道徳科、外国語活動(小)、総合的な学習の時間、特別活動、**+自立活動**

必要がある場合

②下学年の各教科、道徳科、外国語活動(小)、総合的な学習の時間、特別活動、**+自立活動**

知的障害があり、②が困難又は特に必要がある場合

③知的障害者を教育する特別支援学校の各教科、道徳科、外国語活動(必要に応じて)、総合的な学習の時間(小は設けなくても可)、特別活動、**+自立活動**

知的障害がない場合編成できない

学びの連続性を意識して教育課程を編成しましょう。



### 研修資料へリンク

#### 特別支援学級 教育課程編成ガイドブック

作成のねらい  
本ガイドブックは、県立特別支援学校において、平成30年度から31年度までの5年間、特別支援学級特別支援教育実践研究の下に、特別支援学級の編成が課題の一つとなっていました。特別支援学級の編成が課題の一つとなっていました。平成30年度から31年度までの5年間、特別支援学級特別支援教育実践研究の下に、特別支援学級の編成が課題の一つとなっていました。平成30年度から31年度までの5年間、特別支援学級特別支援教育実践研究の下に、特別支援学級の編成が課題の一つとなっていました。

群馬県総合教育センター  
平成31年1月

# 「保育アドバイザー派遣」について



幼児教育センターでは、幼児期の教育や家庭教育の充実を目指し、保育所、認定こども園、幼稚園、学校、公民館等で行う講演会や研修会、保護者会に、経験・知識共に豊富な保育や教育の専門家である「保育アドバイザー」を講師として派遣しています。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の関係で、保育アドバイザーの派遣が延期になったり中止になったりしたこともありましたが、多くの園所・学校・関係機関等からお申込みをいただきました。受講された方からは「とても有意義だった」「来年も派遣してほしい」等のお声を多数いただいています。

**是非、来年度の活用を御検討ください。皆様からの申込みをお待ちしています。**

これまでの実績の一部を掲載します。

- 園内研修・校内研修
- 講演会・各種研修会
- 保護者会・親子行事
- 子育ての支援者の研修 など



原則、年間1回は無料で派遣できます！

## 1 令和4年度の保育アドバイザー派遣の主なテーマ

### ◎保育所、認定こども園、幼稚園、子育て支援団体

#### 【教職員向け・子育ての支援者向け】

- ・「保護者との連携の在り方について」
- ・「幼児期の子育てで大切にしたいこと」
- ・「発達に課題をもつ幼児やその保護者への支援」
- ・「乳幼児の発達や内面の育ちに寄り添う保育」
- ・「幼児期に必要な運動遊び」
- ・「非認知能力の育成について」

#### 【保護者向け】

- ・「コロナ禍での子育てについて」
- ・「幼児の発達段階に応じた心理と親の子供への接し方について」

#### 【親子向け】

- ・「親子の触れ合い遊びについて」

### ◎学校・関係機関

#### 【教職員向け】

- ・「子供の自己肯定感を育む方法」
- ・「幼保小の架け橋プログラム実施に向けて」
- ・「幼児教育から小学校教育へつながる学び～お話を楽しむことに視点をあてて～」
- ・「育児ストレスを抱える保護者への支援」

#### 【保護者向け】

- ・「小学校生活のスタートにあたって」
- ・「親と子のコミュニケーション」
- ・「障がいのある子の話をとことん語ろう」

## 2 保育アドバイザー派遣の申込み方法について

- ①相談書提出：日時や内容、講師などを電話で相談（相談書をメール又はFAXで提出）
- ②派遣依頼書提出：講師決定後、派遣依頼書をメール又はFAXで提出
- ③実施報告書提出：派遣終了後、実施報告書を1週間以内にメール又はFAXで提出

申込先

群馬県総合教育センター 幼児教育センター

【TEL】0270-26-9203（直通）【FAX】0270-26-9222【e-mail】youji@edu-g.gsn.ed.jp

詳しくは、幼児教育センターWebページを御覧ください。【<https://center.gsn.ed.jp/yokyo>】

## 自立支援アドバイザーの取組

当センターでは、「いじめ対策・不登校支援等推進事業（文部科学省）」として、県教育委員会義務教育課や各教育事務所、市町村教育委員会と連携しながら県内の不登校対策に取り組んでいます。

今年度は、当センターに「派遣型自立支援アドバイザー（以下、自立支援アドバイザー）」が3名配置となり、教育支援センターや学校、フリースクール等のニーズに応じて、児童生徒の多様な課題の解決に向けた支援を行ってきました。

「自立支援アドバイザー」は、県教育委員会義務教育課や県内各市町村教育委員会等から派遣依頼があった場合に、教育支援センターやフリースクールに訪問して支援を行います。

以下、今年度の活動状況を基に、「自立支援アドバイザー」の取組を紹介します。

## 今年度の自立支援アドバイザーの活動の紹介

当センターに配置された3名の自立支援アドバイザーは、公認心理師、社会福祉士の有資格者です。福祉的な視点から様々な課題解決に向けた支援を以下のように行いました。

- ・教育支援センターに通室する児童生徒や保護者との面談
- ・教育支援センター、フリースクール等における対応困難な事案に対するの助言
- ・ケース会議でのアセスメント  
（様々な情報を基に総合的・多面的に判断し、見立てを行うこと）
- ・指導員、相談員の資質向上のための講義
- ・教育支援センター運営に関する情報提供
- ・県総合教育センター子ども教育相談室における研修 等



### 教育支援センターでの活動

通室する児童生徒の活動の様子を参観したり、活動と一緒に参加したりする中で、児童生徒に対する行動観察を丁寧に行いました。その上で、児童生徒に指導・支援を行う指導員が抱える指導上の悩みや不安の解消に向けて、具体的な取組を提案することで、よりよい支援につなげることができました。

また、通室する児童生徒の保護者との面談では、子供と接する中で保護者の抱えている困り感に寄り添いながら、児童生徒の現状を確認し、保護者の意向を聴き取ることで、今後の対応策を一緒に考えたりアドバイスをしたりしました。こうした取組を継続することにより、子供自身で意思決定を行って一歩踏み出し、進級・進学に向かうことができるようになっていきます。

今後も、教育支援センターやフリースクールに対する支援や学校と教育支援センターの連携を図るための支援を継続して行っていきます。

### 市町村が主催する講演やケース会議での助言

市町村が主催し、教育支援センターの指導員や相談員が参加する研修会で、講演や講義を行いました。不登校児童生徒、保護者に対する支援の在り方をテーマとし、包括的な支援やチーム支援、児童生徒の現在の状態を正しく見取るための観察のポイントについて講演しました。また、詳細なニーズを引き出すための質問の仕方など、実際の対応事例を交えて講義を行いました。

相談者の対応や心構え、他の機関との連携にどのようにつながっていくかなど、研修会後からすぐに実践することができる具体的な対応策を学ぶ機会となりました。学校と教育支援センターが連携を図っていく上で、共に研修する場を設けることも重要です。今後も、御要望に合わせた支援を行ってまいります。



## ハートフルスクールサポートステーションの紹介



県教育委員会では、障害のある方の就労を支援するため、総合教育センター内・生涯学習センター内に「ハートフルスクールサポートステーション」を設置しています。複数名の障害者スタッフと支援員のチームが業務依頼のあった近隣の県立学校、市町村立学校、教育委員会事務局及び教育機関等へ出向き、支援員の指導の下、校務（事務）補助を行っています。

出張に行ける範囲や対応できる業務に制限がある場合がありますが、派遣依頼希望がありましたら、御相談ください。

～校務（事務）補助（業務内容の例）～

図書室の図書整理、植栽管理（除草等）、印刷業務、会議室や体育館の清掃、学校行事の準備等

【問合せ先】



ハートフルスクールサポートステーション  
支援員 新井有希子  
TEL:0270-26-9206



## 編集後記

過日、開催された令和4年度ぐんま教育フェスタには、多くの皆様にアクセスしていただき、誠にありがとうございました。当日見逃してしまった方も当センターWebページ「ぐんま教育フェスタ」に長期研修員の発表動画等、視聴できるものがありますので、是非御活用ください。この「電子版センターだより」や「ぐんま教育フェスタ」をきっかけにして、多くの方々に当センターからの情報が広まることを願っています。

今年度は空調工事と重なり、寒い中での研修となり、多くの受講者に御不便をお掛けしてしまい申し訳ありませんでした。来年度は工事も終わり、快適な中で集中して研修に臨めると思います。

現在も新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応など、各学校・園では御多忙のことと拝察いたします。当センターでも、皆様に安心して有意義な研修を受けていただくために、研修方法を工夫し、内容を充実させていきます。令和5年度も引き続きよろしく願いいたします。



（文責：R.H）